

- (イ) 救 急 法
- ウ、事例発表と研究協議
- (ア) 事例発表「桑折町におけるスキー教室」
- (イ) 研究協議「スキー教室の企画・立案と運営上の問題について」

⑤ 講 師

福島大学助教授	佐藤 克巳
日本赤十字社救急法指導員	渡部 義健
全日本スキー連盟指導員	小沢 新
同	渡部 一男
同	磯谷 茂寿
同	磯谷 栄一
同	一ノ瀬 正
同	斎藤 一
県スポーツ少年団本部事務局長	菅原重次郎
県教育庁保健体育課指導主事	佐藤 十次

⑥ 概 況

年末年始の雪不足のため開催期日を2回にわたって延期して実施した。参加者数は65名で前年度を大きく上まわり受講の態度も極めて熱心であった。しかし雪質が悪かったため、技術の習得は目標までもう一歩というところであった。技術検定試験合格者は1級なし、2級8名3級5名で、合格率は40%であった。

(4) スポーツ活動指導者県内中央講習会

- ① 期 日 昭和50年5月14日～16日
- ② 会 場 福島市 福島体育館、信夫丘球場
- ③ 参加対象
各ブロック講習会の指導者として予定されている者で

(5) スポーツ活動指導者ブロック講習会

① 期日・会場・参加状況

ブ ロ ッ ク	期 日	会 場	参 加 状 況
県 北	51. 2. 18 19	福 島 体 育 館	各ブロック内市町村教育委員会社会体育担当者、公民館職員 体育指導委員、スポーツ指導員等 59名
県 中	50. 11. 19 20	須賀川市勤労青少年体育 センター、牡丹台球場	同 50名
県 南	50. 6. 2	泉崎村立泉崎中学校	同 64名
会 津	50. 6. 6	塩川町公民館	同 105名
南会津	50. 6. 12 13	下郷町民体育館	同 22名
相 双	50. 5. 30 31	楢葉町立楢葉南小学校	同 50名
い わ き	50. 8. 25	いわき陸上競技場	同 47名

各教育事務所から推せんを受けた者、42名。(壮年ソフトボール21名、家庭バレーボール21名)

④ 内 容

- ア、講 義
 - (ア) 生活の中のスポーツ
 - (イ) 壮年ソフトボール、家庭バレーボールのルールについて。
- イ、実 技
 - (ア) レクリエーション指導の実際
 - (イ) 壮年ソフトボールの練習法と審判法
 - (ウ) 家庭バレーボールの練習法と審判法
- ウ、研 究 協 議
 - 壮年ソフトボール、家庭バレーボールのルールと大会運営上の問題点について

⑤ 講 師

福島大学助教授	佐藤 克巳
同	細川 健
福島市立北信中学校教諭	島貫 広
福島市立飯野中学校教諭	菅野 哲男
福島県レクリエーション協会指導員	仲本 セン
福島市家庭バレーボール協会理事	熊田 早苗
福島県教育庁保健体育課指導主事	佐藤 十次

⑥ 概 況

壮年ソフトボール、家庭バレーボールとも、各地域に広く普及した反面、運営上の問題も多い。そこで、これらの混乱をさけるため、ルールと申し合わせ事項を受講生の意見も参考にして整理したので、今後、スムーズな大会運営が期待できる。